

ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2025
November

ニュージーランド・ウェリントンから 留学生がやってきた！

夏休み子ども日本語クラス「やったね！の会」
区職員向け「やさしいにほんご研修」
ファミリーの絵コンクール
鷺の杜小学校で保護者会
やよい区民まつり
夕涼み会を開催しました
国際短大からインターナンス
インターナショナルウィークを開催しました
編集後記



NZ・ウェリントンから留学生がやってきた！

「中野・ウェリントン友好子ども交流事業」で9月19日（金）～10月3日（金）の2週間、ニュージーランドのウェリントンから中野区に今年は留学生（日本の中学生に当たる年代の生徒）20人が来ました。この事業は、1985年から行っているもので、中野区とニュージーランド・ウェリントンの中学生が隔年で相互に訪問し、ホームステイ、体験入学、語学学習、異文化交流等を行う事業です。今回の留学生は男子校のウェリントン・カレッジからの10人と今年初めて女子校のセイクリッドハート・カレッジからの10人、計20人です。9月22日（月）からの1週間は第五中学校・緑野中学校・南中野中学校・中野中学校・中野東中学校・明和中学校にて体験入学をし、授業や部活動に参加したり、日本文化を体験しました。9月29日（月）～10月3日（金）の1週間は東京近郊の施設見学や中野の文化（能楽とアニメ）をテーマとするワークショップに参加しました。土日・祝日はホームステイ先の家族といろいろな所へ出かけるなど、日本を満喫しました。

スケジュール（前半）

9月19日（金）	QF25便で羽田空港着 大田市場、皇居・東京駅、科学技術館、都庁展望台、中野区役所にて歓迎会・ホストファミリーと対面
9月20日（土）	ホストファミリーと過ごす
9月21日（日）	ホストファミリーと過ごす
9月22日（月）	体験入学
9月23日（火・祝）	ホストファミリーと過ごす
9月24日（水）	体験入学
9月25日（木）	体験入学
9月26日（金）	体験入学

9/19金 初日



はじめまして！
東京！



ようこそ中野区へ、
そして我が家へ！

9/22日～9/26金 学校への体験入学



日本語特別授業にて 漢字を勉強しています。



給食体験！おいしい！



伝統文化体験特別授業・エイサー体験



伝統文化体験特別授業・浴衣着付け



伝統文化体験特別授業・折り紙



部活動も体験（剣道部）

スケジュール (後半)

9月27日(土)	ホストファミリーと過ごす
9月28日(日)	ホストファミリーと過ごす
9月29日(月)	ディズニーランド
9月30日(火)	大谷資料館・平和観音・餃子さつき
10月1日(水・都民の日)	スポーツチャ
10月2日(木)	梅若能楽堂ワークショップ・amps ワークショップ・区長表敬訪問・議会訪問・お別れ会
10月3日(金)	成田山新勝寺・香取神宮・佐原 QF62 成田発

9/30 火



平和観音の大きさにびっくり

10/1 水 都民の日



都民の日はホストスチューデントもお休み!一緒にスポーツチャへ。親交を深めました。

10/2 木 中野を知り、味わう ワークショップの日



梅若能楽堂にて能のワークショップ。
能の動きを教えていただき、貴重な着物の着付けをしていただきました。

中野区内にあるアニメ・マンガ・イラスト専門学校ampsによるアニメ体験ワークショップ。アニメのキャラクターの描き方のコツを教えていただき、コンテストを行いました。



10/2 木 お別れ会



お別れ会にてニュージーランドの生徒より、ニュージーランドの国歌、マオリ語の歌、ハカの披露がありました。全員日本語で感謝の言葉をスピーチしました。

ホストマザーに花束のサプライズプレゼント



10/3 金 帰国の日

最後まで元気に帰れますように。



成田山新勝寺を参拝

来年の夏休みには今回ニュージーランドからの留学生を家庭に迎えた中野の生徒が、受け入れた生徒の家のホームステイをしながら、体験入学・施設見学をします。今回、築いた友情を深め、充実した学びの時間となることを願っております。



夏休み子ども日本語クラス 「やったね！の会」

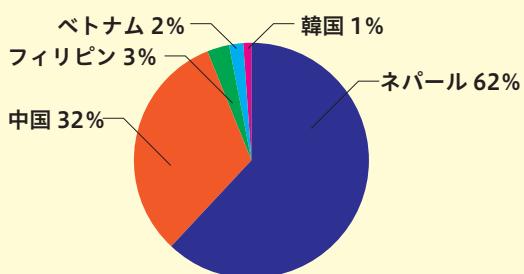
7月23日（水）から8月22日（金）まで全12回、84人の小・中学生が夏休み子どもクラスで勉強をしました。最終日には日本語で書いた作文をスピーチする「やったね！の会」が開催されました。暑い中、多くの子どもがとても頑張りました。



「やったね！の会」の参加者で「やったね」のポーズ

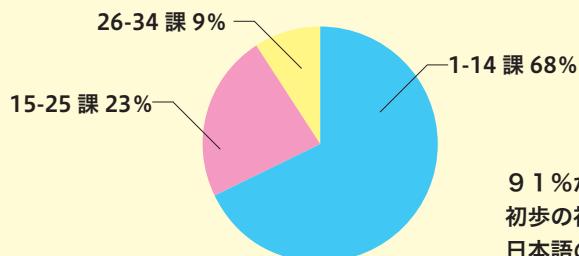
夏休みのこどもクラスに参加している子どもはどんな子どもでしょうか。2つの質問をしました。

Q1 どこの国から来ましたか？



ネパールの子どもが60%以上となることがわかりました。

Q2 今、中野区国際交流協会のオリジナルテキスト「子どものほんご」の何課を勉強していますか？



子どものほんご学習内容

I 1課-14課

- ひらがな・カタカナ
- は□です。/ ではありません。
- います。/ いません。
- あります。/ ありません。
- い形容詞・な形容詞・名詞
- 時刻 / 時間 日にち
- 動詞 I・II・III
- 助動詞 いくら・ずっと など…

II 15-25課

- あげる・くれる・もらう
- 比較・一番・同じ
- 可能 ～ができる
- 経験 動詞た形+ことがある
- 願望 ～たい
- 意志 よう・う形
- 原料・材料
- 自動詞・他動詞 など…

III 26-34課

- ので、のに、から
- 推量 かもしれません
- ・様態 そう
- 仮定 ば・たら・なら
- あげる・くれる・もらう
- ・受身
- ・使役・使役受身
- ・敬語 など…

スピーチの紹介

日本とネパールの違い

明和中学校2年 セレスタ トリナブ(ネパール)

皆さん、今日、ぼくは日本とネパールの違いを話しますから、よく聞いてください！

ネパールの人口二千九百万人くらいですが、日本は一億二千三百万以上もいます。日本のお金は「円」ですが、ネパールのお金は「ルピー」と言います。ネパールには世界で一番高い山もあります。ぼくはネパールで生まれて日本へ来た時には、一才でした。それからずっと日本にいます。

ぼくは六才になった時に、初めて「日本はめっちゃきれいだ！」と気が付きました。ぼくは九才の時、初めてネパールへりようこうをしました。おじいさんとおばあさんがいますし、自分の国へ行きたいと思いました。ネパールは楽しかったですし、びっくりもしました。びっくりしたことはネパールに銀座のようなぎやかな街はたくさんありましたけれども、とても汚かったですし、野良犬もいました。日本ではゴミもないし、野良犬も全然いないからです。

よし、じゃあクイズをしよう！ぼくは何才の時に日本へきたでしょう。

- ①一才 ②九才 ③十二才

正解は…①番の一才でした！



イベント

レポート

区職員向け「やさしい日本語研修」

当協会が中野区から受託して、中野区職員向け「やさしい日本語」研修を、NPO法人多文化子ども自立支援センター代表理事の中山眞理子氏を講師に招き、約130人の受講者を対象に5回に分けて実施しています。

また、受講者が翻訳した「やさしい日本語」が実際に外国の方に理解してもらえるか試すために、当協会の日本語講座の学習者2名にアシスタントをしてもらっています。

終了後の受講者アンケートでは、「実際に外国の方に来ていただき、生の声を聞くことができた。実践を通して身に着けることができた。」、「職場で外国の方と接するときに役立てたい。」などの声が寄せられています。



書いてある内容がわかるか?アシスタントに聞きます

鷺の杜小学校で保護者会

10月16日(木)、鷺の杜小学校で外国籍児童の保護者を対象に保護者会が行われました。鷺の杜小学校は、外国の文化背景をもつ児童が他の校区に比べて多く、ANICからも日本語指導員を何人も派遣しています。保護者会は今回初めての取り組みで、ANICからやさしい日本語とネパール語の通訳を派遣し、学校での様子、ルールや生活面・学習面での課題について伝えました。また、ルールは通常版を「やさしい日本語」にして配布しました。ANICからは、継続的な日本語学習の必要性を伝えました。質疑応答の時間には、保護者の方からたくさんの質問があり、その多くは学習に関するものでした。学校と保護者がお互いに課題を共有する有意義な時間となりました。



学習の積み重ねについて説明

ファミリーの絵コンクール

第42回中野ブロードウェイ「ファミリーの絵コンクール」に子どもクラスに通う12人の小学生が家族や友達の絵を描いて、応募しました。その中で、4年生の王茗鑑さんは銅賞、同じく4年生のリジャルバラキリティさんはブロードウェイ賞を受賞しました。王さんは家族と海へ行った時の様子を描きました。影で家族を描いたそうです。リジャルさんの絵は家族と友達の絵です。参加者全員の絵が10月1日～31日まで中野ブロードウェイにて展示されました。



左上段が王さんの絵、右下段がリジャルさんの絵

やよい地区まつり



おいしく、楽しいひととき

10月19日(日) 弥生区民活動センターで行われた「やよい地区まつり」でやよい日本語教室の学習者・ボランティアが一緒に「おしゃべりサロン」を開きました。中国の日本語学習者が中国茶を入れて、フランスの日本語学習者がマドレーヌを焼き、来場者と会話を楽しみました。中国の子どもの日本語学習者との折り紙コーナーもありました。

地域の方との交流が深まり、やよい日本語教室を知ってもらう良い機会になりました。

夕涼み会を開催しました



軽やかなリズムに熱狂

7月17日(木)夕涼み会を開催しました。バルーンアート、千本釣り、玉入れ、ボーリング、スーパー・ボール、ポッチャ、おめん、駄菓子の出し物がありました。200名近い外国人参加者がいて、浴衣の着付けを体験した人もいました。今年は「東京高円寺阿波踊り」で活躍されている「和樂連」の方に阿波踊りを教えていただきました。阿波踊りを初めて見る人が多い中、軽快なリズムや躍動感のある動きに皆あっという間に夢中になり、何回も踊る人もいました。日本人も外国人も踊り方はもちろん、「ヤットサー」「ヤットヤット」という掛け声も覚えました。約80名のボランティアが協力して、日本の夏の風情を感じられるにぎやかなひとときを作ることができました。

国際短期大学からインターン生

8月18日(月)から22日(金)まで5日間、江古田にある国際短期大学からインターン生を受け入れました。夏休みの子どもにほんごクラスの最終日に行われる「やったね！の会」他、様々な事業の準備等を体験していただきました。たくさんの外国の子どもが夏休み中週に何回もANICに通って勉強していることや初日に上手くスピーチができていなかった子どもが「やったね！の会」当日には上達していたことに驚いたそうです。

また、「やさしい日本語」の体験もしていただきました。初めて「やさしい日本語」に触れたインターン生から「どのように書けば日本語をマスターしていない方に伝わるのかを真剣に考えましたが、答えとは程遠かったです。見ている分には簡単だと思い込んでいました。習得するには、慣れや頭が柔らかくないと出来ないと感じました。今後も使う機会が絶対にあると思うので、これからも調べて習得したいと思いました。」という感想がありました。

短い間でしたが、熱心に取り組んでいただきました。



「やったね！の会」にて表彰を手伝うインターンの2人（左）

インターナショナルウィークを開催しました



ネパールのお話

9月8日(月)～10日(水)中野区役所1F「シェアノマ」にてインターナショナル・ウィークを開催しました。やさしい(わかる)日本語体験コーナーや民族衣装体験コーナーがありました。民族衣装体験コーナーではハワイ、ラオス、カメリーン、フィリピン、バングラデシュ、エジプト、エクアドル、ウズベキスタン、中国の民族衣装がありました。また、今年は日本語講座の学習者に自分の国の紹介をしてもらう時間も設けました。ミニ中国語講座、フランス、アメリカ、トーゴ、ネパール、中国のお話の時間がありました。どんな気候でどんな食べ物を食べているか、有名な人はどんな人か、名物は何か、もし行くことがあったらおススメの観光名所はど

こか？来場した人は興味深く話を聞いていました。世界のいろいろな地域の文化・生活を垣間見ることができます。また、今回初めての試みとして、ナカノヤNYAcafeでは1週間限定でこのイベントとのコラボメニューもありました。大好評で、通常よりも30食以上多く注文の入った日もあったそうです。

編集後記

8月に長野を旅行しました。運転中に目の前をクマが横切りました。幸いクマは私の乗る車に気が付かず、のんびりとした足取りで国道を横断しましたが、思わず息をのみました。ニュージーランドにはクマがないと聞き、山を歩いてもこの恐怖体験はないのかと羨ましくなりました。(M)

